

根郷地区の概要

根郷地区は従来農村地帯であったが、北部にＪＲ佐倉駅、南部に国道５１号線と交通の便や地理的条件に恵まれて、昭和３５年を機とした高度経済成長の波にのった開発がおこなわれ、その一部が工業地域に指定されて昭和４０年頃から大小の工場が次々に進出してきた。また、昭和４７年に東関東自動車道が開通し、一層都市化に拍車をかけた。以前の山林、田畑はつぎつぎと宅地造成され、新しい家々が建ち並ぶ住宅地になり、新しい住民が多くなってきた。

地域全体をみた場合、農村地域と住宅地域、さらにはＪＲ佐倉駅周辺、あるいは県道沿いの商店、工業団地といった地域構成となっている。根郷地区の面積は市全体の１６．９％に当たる１７４６ha、人口は１４．４％に当たる２５，２５６人であるが、今後も人口の増加が見込まれている。近年の宅地開発等によって、藤治台・大作・大崎台・山王・春路・表町等の新しい大字地名が加わり、新しい麓の列なる美しい町並が広がっている。しかし、南部地域を中心に自然豊かな山野・田畑も多く残されている。また、学校は根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校、南部中学校、根郷中学校、県立佐倉南高等学校、千葉敬愛大学があり、学園地区としても注目されている。

管理・運営の部

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館運営計画を基本として根郷地区の実態をふまえ、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるようにつとめる。

努力目標

より多くの人に利用してもらえる施設となるよう、施設設備の提供等に工夫をこらすとともに、利用者に好感を持たれる対応につとめる。

幅広い年齢層の幅広い要望に答える多様な事業を展開する。

地域の人材の力を地域に還元する橋渡し役となるようにつとめる。

郷土意識の高揚、社会問題への関心の喚起につとめる。

事業内容

1. 施設・備品の提供

(1) 施設の提供

提供日時 月・火・日曜日（第2・4月曜日は休館） 9：00～17：00

水・木・金・土曜日 9：00～21：30

使用の受付は原則として、2ヵ月前の月初めから予約開始
（予約開始日の午前9時から抽選。抽選後は先着順に受付。回数制限なし）

休館日 毎月 第2・4月曜日・年末・年始

(2) 備品の提供

館内での利用に支障のない範囲で、備品・器具等の貸出しを行う。

佐倉市市民部の所管する子ども御輿、イベントテントの貸出し事務の一部及び保管を取り扱う。

2. 学級・講座・講習会・見学会

参加者の対象別に家庭教育、成人教育、高齢者教育の各事業にわけて実施する。

3. その他の事業

広報、体育・レクリエーション、図書、団体育成、情報提供、人材活用、個人学習などの事業を実施する。

2 . 公民館の利用状況

年度別利用状況

年度 区分	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
利用件数	3,134	3,270	3,177	3,266	3,320
利用人数	35,309	37,421	35,786	37,124	36,299
開館日数	334	333	333	333	334

事 業 の 部

領域	事業名	内 容	対 象	期間・回数
家庭教育	ぼっぼちゃんくらぶ	親子の関係を見直す機会となるように親子で一緒に運動や絵本、手遊びなどを楽しみ、親同士の交流を図った。父親参加の日(公開日)各コース2回を開催した。参加者のきょうだいを、保育ボランティアで対応した。	2歳児と保護者 40組 (20組×2コース)	前期：5月～7月 後期：10月～12月 各コース12回
	親子ふれあい教室	乳幼児が体を動かして遊んで楽しむ。また乳幼児を持つ親の仲間づくりの場、情報交換の場として実施した。	幼児と保護者	1回
	家庭教育共通新規事業(食の大切さ)	親子で正しい「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、大切さ等を学んだ。	小学生以上の保護者	3回
青少年教育	親子交流	そば打ちなどの調理体験を通し、親子交流を図った。	小学生と保護者 20人	3回
	通学合宿	子ども達に生活体験を通して、生きる力を身につけるとともに貰い湯等で地域の人達との交流を図った。	小学生4～6年	6月24日～6月27日(3泊4日)
	体験・ものづくり	おもしろ科学実験隊、わくわくキッズなど体験型の事業を開催した。	小学生	年間 3～4回
	映画・音楽鑑賞会	名作映画会、音楽演奏会などを開催した。(地域居住の演奏者から根郷地区の小・中学生への指導と交流)	幼児～成人	夏休み・春休みに3回程度開催
	佐倉っ子塾 共通講座	環境意識を育む講座を実施した。(印旛沼や鹿島川の水を使った水質検査や浄化の実験)	地区の小学生 20名	9月～3月 2回
	佐倉っ子塾 共通講座	創造力を育む講座を実施した。(根郷地区での工業・商業・農業などさまざまな分野について学んだ。)	地区の小学生 20名	9月～3月 2回
成人教育	健康づくりの講座	健康増進のための講座を実施した。	成人 40人	9月 3回
	人権講座	いじめや児童虐待など旬な問題を取り上げ、人権教育を実施した。	成人 30人	10月 1回

	体験・ものづくり講座	体験型・参加型の講座 地元根郷のこんにやく芋を使った料理講座を実施した。	成人 20人	年間 2~3回
	パソコン関係講座	初心者を対象とした各種パソコン講座を実施した。	成人各回 32人	年間 4回
	パソコン自由利用	ボランティアを配置し、パソコン初心者が自由にパソコンに触れる場を提供した。。	成人各回 20人	毎月 2回
	パソコンボランティア	パソコン関係主催事業の企画運営に市民が参画した。	成人	通年
成人教育	消費生活講座	悪徳商法の手口と対処法などを学んだ。	成人 60人	2月 1回
	佐倉ウォッチング	野草などの自然観察や史跡めぐりの散策を通し、地域を見直す機会とした。	成人 15人	4月 1回
	地域づくり入門講座(防災講座)	消防署・警察の協力を仰ぎ、地域住民の防災意識を向上させる機会とした。	成人	3月 1回
佐倉学	根郷探訪	郷土根郷の歴史・自然をテーマに地元住民を講師として講座・散策会を実施した。	成人 30人	年 2回
	佐倉学専門講座 佐倉ゆかりの先覚者	佐倉の特色を活かした専門講座として堀田正睦を中心とした幕末から明治の激動期に活躍した佐倉の先覚者を学んだ。	成人 60人	9月 1回
	佐倉学入門講座 近代の佐倉講座	近代の佐倉をテーマに様々な郷土の資料を活用しながら明治・大正・昭和の変遷を学んだ。	成人 100人	9月から12月 3回
高齢者教育	寿大学	健康、地域、文化等幅広い分野を学びながら、レクリエーション活動などで参加者同士の交流を図った。	60歳以上 120人	5月~3月(8月を除く) 10回
団体育成	根郷地区社会教育関係団体への援助	南部地区子ども会育成会連絡協議会と、根郷地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援した。	該当団体	通年
人材育成	中高生ボランティア育成	地区内の中・高生に主催事業への協力を呼びかけ若年層にも地域の輪を広げた。	中高生	随時

人材育成	講師の公募	地域の人材を活用し、公民館事業を進めることをめざして講師を公募した。	成人	随時
	ボランティアの育成	主催事業や施設的环境美化に協力してくれるボランティアを公募した。	成人	通年
広報活動	根郷公民館だより	館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを掲載した館報を発行した。	根郷地区各世帯	4月・9月 10,900部×2回
図書事業	図書の貸出・返却	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、返却の受付を行った。	幼児～成人	通年 1人10冊 2週間まで
その他	夏休み自習室	夏休みの期間中、学生等が学習に利用できる部屋を開放した。	小学生～成人	7月～8月 10人×40日
	卓球室開放	家族や友人らと気軽にスポーツ(卓球)を楽しむ場を提供した。	幼児～成人	4月～3月 第1日曜日 12回
	定期利用者懇談会	公民館の活動について理解を求めるとともに、利用団体からの意見、要望を聞いた。	利用団体代表者	4月・5月 2回

1. 家庭教育事業

ぼっぼちゃんくらぶ

開設趣旨 幼児の想像力や豊かな心を育てるうえで重要な役割を果たす絵本。絵本の読み聞かせの手法や絵本の楽しさを学ぶ。工作や遊びなどを通して、親子で楽しむ機会を提供する。また、体を動かすことの楽しさや同年齢の友達とふれあうことで、幼児期の人格形成を促すことを目的とする。また、地域にかえっても話し合えるような参加者同士の仲間づくりを図り、子育てにおける親と子の関わりを考える。

対象 前期 平成16年4月2日～9月30日生まれの子と保護者20組 40人

後期 平成16年10月1日～平成17年4月1日生まれの子と保護者20組 40人

学習目標 絵本の読み聞かせを通して幼児の想像力や豊かな心を育てる。また、運動や遊びを通して、親子の関係、地域とのかかわり、子育てについて考える。

指導者 前期 高根沢 直子(えほん)・伊藤 友香、坂上 千佳(体操)

後期 高根沢 直子(えほん)・伊藤 友香、坂上 千佳、高木 陽子(体操)

開催期間 前期 平成19年5月10日(木)～7月12日(木)

後期 平成19年10月4日(木)～12月6日(木)

午前10時から11時30分まで 前期12回 後期12回

保育ボランティア ちゅんちゅんくらぶ

学習プログラム

(前期)

回数	日時	テーマ	学習内容	講師
1	5月10日(木)	チューリップが咲いた!	絵本の読み聞かせ 折り紙でチューリップを作る。	高根沢 直子 氏
2	5月17日(木)	金魚を泳がせよう	絵本の読み聞かせ 折り紙で金魚を作ろう	高根沢 直子 氏
3	5月20日(日)	絵本とお父さん ～さくら庭園～	青空の下で絵本の読み聞かせ ロケットを飛ばそう お父さん紙飛行機を作って!	高根沢 直子 氏
4	5月24日(木)	手型をとろう	絵本の読み聞かせ どのくらい大きくなったか見てみよう	高根沢 直子 氏
5	5月31日(木)	犬小屋を作る	絵本の読み聞かせ 空き箱の工作は、かわいい犬小屋	高根沢 直子 氏
6	6月7日(木)	電車ごっこ	絵本の読み聞かせ 手作りのきっぷで電車ごっこしよう	高根沢 直子 氏
7	6月14日(木)	ボールで体操	投げたり、ついたり、転がしたり 大好きなボールで遊ぼう	坂上 千佳 氏 伊藤 友香 氏

8	6月21日(木)	タオルを使って	タオルを使って、楽しく体操しよう	伊藤 友香 氏
9	6月28日(木)	器具を使って	マット、平均台でチャレンジしよう	坂上 千佳 氏 伊藤 友香 氏
10	7月5日(木)	フープを使って	フープで楽しく体操しよう	坂上 千佳 氏 伊藤 友香 氏
11	7月8日(日)	新聞紙を使って ～ホール～	新聞紙を使って いろいろな遊びをしよう	坂上 千佳 氏 伊藤 友香 氏
12	7月12日(木)	みんなで よーいドン	ミニ運動会	坂上 千佳 氏 伊藤 友香 氏

(後期)

回数	日時	テーマ	学習内容	講師
1	10月4日(木)	お花が咲いた	絵本の読み聞かせ 折り紙でお花を作ろう	高根沢 直子 氏
2	10月11日(木)	みんなで さかなつり	絵本の読み聞かせ 色をぬる・切る・動きをつける	高根沢 直子 氏
3	10月14日(日)	絵本とお父さん ～さくら庭園～	青空の下で絵本の読み聞かせ ロケットを飛ばそう お父さん紙飛行機を作って!	高根沢 直子 氏
4	10月16日(火)	手型をとろう	絵本の読み聞かせ どのくらい大きくなったか見てみよう	高根沢 直子 氏
5	10月25日(木)	犬小屋を作ろう	絵本の読み聞かせ 空き箱の工作は、かわいい犬小屋	高根沢 直子 氏
6	10月31日(水)	電車ごっこ	絵本の読み聞かせ 手作りのきっぷで電車ごっこしよう	高根沢 直子 氏
7	11月8日(木)	ボールで体操	投げたり、ついたり、転がしたり 大好きなボールで遊ぼう	坂上 千佳 氏 伊藤 友香 氏
8	11月11日(日)	新聞紙を使って ～ホール～	新聞紙を使って いろいろな遊びをしよう	坂上 千佳 氏 伊藤 友香 氏
9	11月15日(木)	タオルを使って	タオルを使って、楽しく体操しよう	坂上 千佳 氏 高木 陽子 氏
10	11月22日(木)	フープを使って	フープで楽しく体操しよう	高木 陽子 氏 伊藤 友香 氏
11	11月29日(木)	器具を使って	マット、平均台でチャレンジしよう	坂上 千佳 氏 伊藤 友香 氏
12	12月6日(木)	みんなで よーいドン	ミニ運動会	坂上 千佳 氏 伊藤 友香 氏

講座を終えて

絵本と体操というテーマの違うものの組み合わせ。子どもの性格により、興味の違いがみられるが、情操教育と、からだの発達を考えた講座。日曜日の家族参加の日は、父親、祖父母、参加児童の兄弟などで多くの参加となり、青空の下だと遊びの幅も広がり、皆とても伸び伸びしていた。

この講座を一つの契機として、2歳児という幼児期を、親としてどう子育てすべきか、楽しさや悩みも話しあいながら、同じ子どもを持つ保護者や子どもたち同士の交流を通じて、今後の家庭教育に生かして欲しいと思う。

お母さんと遊ぼう - 親子ふれあい体操と友達づくり

開設趣旨 幼児の心身の健全な発育を促す。

内 容 親子のふれあいと友達づくり

対 象 幼児と保護者 20組

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	講 師	参加人数
1	8月7日(火) 10:00～11:30	親子のふれ あい体操と 友達づくり	親子で体操をしながら、親子、友 達との交流を図った。	佐藤由利子 氏 外2名	12組

講座を終えて

親子で体操を楽しみながら、少子化の中で希薄になりがちな同年齢の幼児とその保護者同士の交流を深める機会となった。また、馬渡保育園の園長と保育士による子育てについての話もあり、保育園との交流もできた。

家庭教育共通事業「食の大切さ」

開設趣旨 親子で「食」について考え、正しい食の知識と正しく食することを学び、親子で調理実習をしながら楽しく身につける。

内 容 親子で正しい「食」の知識について学ぶ。

対 象 小学生と保護者 20人

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	講 師	人数
1	3月16日(日) 10:00～12:30	お昼ごはんを作っ て食べよう (肉じゃが・だしをと ってみよう)	親子で正しい「食」の知識を身につ け、「食」の大切さなどを学んだ。	職員	10人
2	3月30日(日) 10:00～12:30	お昼ごはんを作っ て食べよう (手づくりぎょうざ)	親子で正しい「食」の知識を身につ け、「食」の大切さなどを学んだ。	職員	10人

講座を終えて

親子で日常の食事について話し合い、鍋と炊飯器で炊いたご飯を食べくらべたり、だしをとってみそ汁と肉じゃがを作ったりすることで、「食」について学ぶことができ、2回目の手づくりぎょうざについては、参加者の希望により実施した。

2. 青少年教育事業

親子交流

開設趣旨 親子で調理体験を通して、親子の交流を図る。

内 容 親子クッキング

対 象 小学生と保護者 20人

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	講 師	参加人数
1	8月22日(水) 9:30～12:00	親子クッキング	手打ちうどんを作った。	職員	26人
2	8月30日(木) 9:30～12:00	親子クッキング	ホットケーキミックスを使って楽しんだ。	職員	29人
3	1月26日(土) 9:30～15:30	親子クッキング	親子でそば打ちに挑戦した。	そば道場	31人

講座を終えて

新規講座のため、試みとして子ども会を通して募集をし、多くの参加があった。ちらし配布等による参加もあり新たな募集方法での講座となった。

そば打ちについては、公民館利用団体の「そば道場」の方々が指導にあたってくださって、長野・茨城・佐倉で採れたそば粉でそばを打ち、食べくらべたり、親子で作る楽しさ、食する喜びを実感でき、親子の交流も出来た。

冬休み子ども音楽コンサート(クリスマス音楽会)

開設趣旨 音楽に親しみを持ち、音楽を通じて友達の輪を広げ、青少年の健全育成を実現する。

対 象 幼児、小学生、成人 50人

学習内容 根郷地域の子どもたちを中心に、クリスマスの楽しいひとときをすごせるよう、音楽による催し物を行う。

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	講 師	参加人数
1	12月23日(日) 13:30～15:30	みんなで音楽を楽しもう	音楽をとおして青少年育成を図った(市民ボランティアによる親子向けコンサート)	佐倉ウィンドアンサンブル	59人

講座を終えて

市内のボランティアグループ(佐倉ウィンドアンサンブル)による演奏で、今年で5回目。今回はクリスマスやディズニー音楽を中心に演奏会を実施しました。子供たちに音楽をとおして感受性豊で、健やかに成長してもらいたく、企画・実施しました。また、今年は、親子での参加もOKで、アットホーム的な演奏会となりました。

子ども映画鑑賞会

開設趣旨 名作映画会として実施し、映画をとおして友達の輪を広げ、青少年の健全育成を実施する。

対象 小学生 2回 各50人

学習内容 根郷地域の子どもたちを中心に、映画鑑賞会を実施した。

学習プログラム

回数	日時	テーマ	学習内容	参加人数
1	7月26日(木) 10:00~11:30	子ども映画会	子供向け名画鑑賞を実施した。 ・大空を飛ぶスノーク ・ムーミン海賊と戦う	35人
2	3月25日(火) 10:00~11:30	子ども映画会	子供向け名画鑑賞を実施した。 ・学校の怪談	43人

講座を終えて

地域の子供たちを対象に夏休み、冬休みを利用して映画鑑賞会を2回実施しました。

普段映画を見る機会が少なくなった子供たちは、スクリーンに映写される大きな映像に感動していたようです。このように映画を楽しむことのない子どもたちがまだ大勢いると考えられるので、映画を見る機会をあたえ、子ども同士の交流を進めるとともに、文化の理解を広めていきたいと思えます。

勾玉づくり

開設趣旨 縄文時代の生活や装身具について知識を得て、実際に作ることにより、興味深いものとする。

対象 小学生 20人

学習内容 講義と勾玉づくり

学習プログラム

回数	日時	テーマ	学習内容	講師	参加人数
1	8月28日(火) 10:00~12:00	縄文時代の生活や装身具について知識を得る	講義と勾玉づくりを行った。	千葉県教育振興財団職員	23名

講座を終えて

最初はぎこちない子もいたが、次第に慣れて、2時間足らずで、各自思い思いの作品を完成させることができた。

これを機会に縄文時代の暮らしに興味をもってもらいたい。

おもしろ科学実験隊

開設趣旨 子どもたちが五感のすべてを使って、遊びながら科学の楽しさ、不思議さに触れる。

対 象 小学4～6年生 17人

開催期間 平成19年6月2日から12月1日までの全6回

学習プログラム

回数	開催日	時間	講師	内容	会場
1	6月2日(土)	13:00～15:00	佐倉高校教諭 川上 義孝 先生	スライムを作って遊んだ	調理室
2	7月7日(土)	13:00～15:00	元臼井南中学校校長 土井 仁 先生	温度の世界(温度と物質) を探った	根郷中学校 理科室
3	8月4日(土)	13:00～15:00	千葉工業大学 中田 昌宏 教授	「浮いてこい」を作ろう 浮きの実験をした	学習室1
4	9月1日(土)	13:00～15:00	村上中学校教諭 西澤 保雄 先生	万華鏡を作った	調理室
5	10月6日(土)	13:00～15:00	筑波大学 小林 正美 助教授	レンジでポテトチップス、 透明石鹸作り、不思議なや じろべえを作った	調理室
6	12月1日(土)	13:00～15:00	筑波大学 小林 正美 助教授	みかんの房を溶かす 人工イクラ、傘袋ロケット、 静電気の実験を行った	学習室1 ブレイルーム

講座を終えて

今年で8年目となる「おもしろ科学実験隊」。小学校高学年ともなればサッカーなどのスポーツ活動や習い事などで忙しくなる年齢ですが、17名の科学大好き少年少女がこの6回シリーズに集まってくれた。

どの講師も子どもたちの期待にこたえる不思議で楽しい実験を用意してくださり、時間延長も度々あり、大変充実した講座となった。

2 1 佐倉っ子塾

共通講座 「環境講座」

印旛沼と鳥

開設趣旨 子供たちに地域をよく理解してもらうために環境を理解してもらい、故郷を大切に思う心を育てる。

対象 小学生 各20人

学習内容 印旛沼や鹿島川の水を使って環境意識を育む講座とする。

学習プログラム

回数	日時	テーマ	学習内容	講師	参加人数
1	12月9日(日) 10:00~12:00	印旛沼と鳥	印旛沼と鳥たちの関係を調べた。	日本野鳥の会 会員 浅野俊雄 氏	5人
2	2月2日(土) 13:30~15:30	印旛沼の水を調べてみよう	印旛沼の水がどのようなになっているか調査した。	教諭 西澤保雄 氏	3人

講座を終えて

郷土の環境をよく理解してもらおうと企画・実施した講座である。

特に佐倉市の自然財産の象徴ともいえる印旛沼を取り上げ、子供たちにこの財産を残すとともに、さらには子供たちにこの自然の財産の保存を託していく願いを込めて実施しました。今回は特に、印旛沼に生息する鳥や、季節ごとに渡ってくる鳥の習性などを知り、鳥たちが生きていくのに印旛沼がどのような役割をしているのかを学びました。

共通講座 「想像力養成講座」

きのこ採り体験

開設趣旨 郷土のさまざまな分野で活躍している人たちを知ってもらう。

対象 小学生 20人

学習内容 子どもたちに郷土のさまざまな産業を知ってもらい、そこに活躍する人々と接することで、郷土を今以上に理解してもらう。

学習プログラム

回数	日時	テーマ	学習内容	講師	参加人数
1	2月16日(土) 9:30~11:30	きのこ採り体験	郷土で活躍している人たちとふれあい、郷土愛を育てた。	佐倉きのこ園 園長 齋藤勇人 氏	6人

講座を終えて

郷土のさまざまな産業を知ってもらい、そこに活躍する人々と接し、子どもたちに郷土の素晴らしさを知ってもらうために実施した事業です。今回は佐倉きのこ園のご協力のもと、子どもたちにきのこの栽培過程を知ってもらいました。きのこはスーパーなどではよく見ますが、実際の栽培風景を見るのは初めてのようで、熱心に園長の話聞いていました。

最後には、初めてのきのこ採り体験の楽しみもあり、子どもたちは大変満足していたようです。

この事業が、少しでも子供たちに郷土の理解につながってくればよいと感じました。

3 . 成人教育事業

根郷探訪

開設趣旨 郷土の歴史・文化・自然をテーマに散策を行い、郷土史を理解する。

対 象 成人 各20人

学習目標 郷土の歴史・文化・自然をテーマに散策を行い、歴史の街佐倉について理解を深め、郷土愛の育成を図る。

開催回数 2回

学習プログラム 前期

回数	日 時	テ マ	学 習 内 容	講 師	参加人数
1	12月5日(水) 9:00～12:00	城址公園散策	JR佐倉駅から城址公園、武家屋敷の散策を実施した。	佐倉城址公園ボランティアの会	9人
2	1月19日(土) 10:00～12:00	城地区周辺散策	城地区周辺の史跡散策や、根郷公民館の周辺の歴史の紹介をした。	渡辺 庄一 氏	9人

講座を終えて

根郷地区周辺の歴史を中心に紹介をし、地域の歴史に興味を持っていただきたために実施しました。第1回目には、JR佐倉駅周辺を散策し、佐倉城址公園や、武家屋敷まで足を伸ばし江戸時代の様子を学んだ。また、正岡子規が佐倉の地に来ており、当時の佐倉の様子を詠んだ句があります。参加者は、その句を詠みながら当時の佐倉を想像していたようです。

第2回目は、公民館周辺をよく知らない市民が多いので、周辺の史跡を訪ねながら城地区の紹介をしました。特にこの地区には、五穀と産業を司どる神を祭る麻賀多神社があり、地域の人たちによってよく手入れをされています。今後も、郷土史を学ぶことで地域を理解していただけるよう、講座を継続していきたいと思えます。

根郷ウォッチング

野草観察会

開設趣旨 自然観察を通して、身近な地域の自然に親しみ佐倉の魅力を再発見する。地域をゆっくりと歩きながら自身の目と耳で楽しみながら確かめる。

対 象 成人 20人(野草観察会)

学習目的 市内を散策し、野草観察会を通して地域を見なおす機会を得る。

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	講 師	参加人数
1	4月15日(日) 10:00~12:00	春の野草観察会	JR佐倉駅を起点に六崎周辺を散策し、春の野草を探しながら地域の身近な自然に親しんだ。	自然観察指導員 近藤維久子 氏	7人

講座を終えて

郷土佐倉の野草を散策しながら学ぶ講座で、自然に親しむ為の自然観察会として実施した。今年は、JR 佐倉駅から六崎周辺まで山野草や里山、古木などを観察した。講座生は早春のさわやかな空気の中、佐倉の植生や地形、建築物などを再発見しながら歩きました。参加者は、歩くという楽しみと、佐倉に残されている自然に触れることで健康増進にもなったのではないのでしょうか。

健康づくり講座

開設趣旨 日常生活での過剰な栄養摂取と運動不足による健康被害を防ぐために、運動がいかに必要であるかを知ってもらう。また、運動の楽しさを味わってもらうことを目的とする。

対 象 成人 20人

学習目的 中高年を対象にした健康増進を図る。

開催期間 2回

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	指 導 者	参加人数
1	9月11日 (火)	「正しいストレッチ」	人の体のしくみを学び、適度な運動について理解を深めた。	NPOニッポンランナーズ 北 晃 氏	9人
2	9月18日 (火)	「正しい姿勢」	正しい姿勢を保つためにストレッチの実技や、正しい筋肉の使い方を学んだ。	”	9人

講座を終えて

今では、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)という言葉は、聞きなれていますが、肥満の予備軍を指しているんです。そこで、このたびは NPO ニッポンランナーズより講師を迎え、正しく体を動かすことを学んでもらいました。第1回目には、人の体のつくりについて基本的なことを学び、2回目には、正しい姿勢を保つために必要な筋力を作る(保つ)ことが大事である点を理解し、つま先立ちや、スクワット、腕吊り前後、ツイストなど姿勢を保つのに必要なトレーニングの実践を行い、正しい姿勢を保つコツを教わり、普段から体を動かす必要性を学んだ。

地域防災講座

開設趣旨 予告なく発生する地震の心構えについて学習する。

対 象 50人

学習内容 成人の方と児童を対象に地震の怖さと心構えについて学ぶ。

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	参加人数
1	3月24日(月) 15:00~15:30	地震体験	地震の際の心構えについて起震車体験を交えて学習した。	児童 4人 一般 47人

講座を終えて

阪神淡路大震災が、平成7年1月に起こり、皆さんがその恐ろしさを忘れ去ったころ、新潟県中越沖地震が平成19年7月(マグニチュード6.8)に起こり、再び地震の恐ろしさを思い出したのではないのでしょうか。その時どのように対処・行動したらよいか心構えについて知ってもらうため、交通防災課の協力を得て、起震車体験を実施しました。

少子化問題講座

開設趣旨 現在、社会問題として取り上げられている少子化問題についての理解を深める。

対 象 成人 各15名

学習目的 現在、社会問題として取り上げられている少子化の問題。その要因とは、将来の日本の社会に対して、どのような影響を与えるのか、何をなすべきなのかについて学ぶ。

学習プログラム

回数	日 時	テーマ	学 習 内 容	講 師	参加人数
1	10月14日(日) 14:00~16:00	アジアの人口問題と比較してみた日本のジェンダー構造	中国、ネパール、韓国などアジア諸国と比較して日本の人口問題がどのように浮き彫りにされるかを考えた。	和智 綾子 教授	10人
2	10月21日(日) 14:00~16:00	ヨーロッパの家族政策とジェンダー	ヨーロッパ諸国における家族政策と出生率について学んだ。 特にドイツを中心に	魚住 明代 教授	10人

講座を終えて

広報だけでなくチラシ・ポスターを配布し、宣伝を行ったが、参加人数は少数であった。

受講した参加者はテーマに強い関心のある方が多く、活発な意見が交わされ、ビデオなどの映像を利用した具体的な事例をもとに丁寧でわかりやすい講義となった。

体験・ものづくり講座

開設趣旨 地域の素材を活かしたものづくりを通じて市民の交流と地域への関心を高める。

対 象 成人 各10名

学習目的 地域の人材を活用し、自ら学び、地域づくりにつなげる。

学習プログラム

回数	日時	テーマ	学習内容	講師	参加人数
1	5月27日(日) 10:00～12:00	UV クリーム作り	香料がないナチュラルで手にやさしいUV クリーム作りを学んだ。	佐倉高校教諭 川上義孝氏	13人
2	7月25日(水) 10:00～12:00	寿大学課外料理講座 (なすを使って)	なすを使用した料理に挑戦した。	職員	15人
3	7月31日(火) 9:30～12:00	寿大学課外手芸講座 (小物作り)	壁掛け作りに挑戦した。	職員	12人
4	8月3日(金) 9:30～12:00	寿大学課外料理講座 (かぼちゃを使って)	かぼちゃを使用した料理に挑戦した。	職員	8人
5	8月21日(火) 9:30～12:00	寿大学課外手芸講座 (買物バック作り)	買物用エコバック作りに挑戦した。	職員	10人
6	8月31日(金) 9:30～12:00	寿大学課外料理講座 (じゃがいもを使って)	じゃがいもを使用した料理に挑戦した。	職員	20人
7	11月25日(日) 9:30～12:00	高級石けんを作ろう	香料がないナチュラルな石けん作りを学んだ。	佐倉高校教諭 川上義孝氏	15人
8	12月12日(水) 9:30～12:00	こんにやく作りに挑戦	地元の方に講師をお願いし根郷産のこんにやくいもを使用したこんにやく作りに挑戦した。	地元の方	19人
9	2月17日(日) 9:30～12:00	寿大学課外手作り講座 (豆腐作り)	豆腐作りに挑戦した。	職員	11人
10	2月19日(火) 9:30～12:00	寿大学課外手作り講座 (味噌作り)	味噌作りに挑戦した。	職員	3人
11	2月29日(金) 9:30～12:00	寿大学課外手作り講座 (味噌作り)	味噌作りに挑戦した。	職員	6人

講座を終えて

寿大学の受講生を中心に募集をした。一部の講座を除いては、外部から講師を招くのではなく、受講生の経験者を中心に行った。また、講座の性質上、少人数制となったが、かえって和気あい合いと楽しみながら講座を実施できた。

3 1 佐倉学講座

佐倉学入門編

郷土史講座

開設趣旨 近代の佐倉を中心として学び、根郷地区をよく知ってもらおうと企画実施しています。特に入門編では佐倉の歴史に興味を持って頂くことを狙っています。この講座がこれから地域の歴史を学ぼうとしている人の手助となることを目的としています。

対 象 成人 各60人

開催回数 4回

学習プログラム 前期

回数	日 時	テ マ	学 習 内 容	講 師	人数
1	9月30日(日) 10:00~12:00	近代の佐倉1 千葉県の成り立ち	佐倉を中心に明治・大正の変遷を学んだ。	千葉県郷土史研究協議会 会長 樋口 誠太郎 氏	35人
2	11月4日(日) 10:00~12:00	近代の佐倉2 根郷の成り立ち	明治、大正、昭和と近代の佐倉を中心に学び、郷土根郷を知ることができた。	中村 正弘 氏	37人
3	12月8日(日) 10:00~12:00	近代の佐倉3 近代の交通史	近代の交通史及び鉄道発達史を学び、佐倉・根郷の発展を探った。	佐倉市史近代専門部 会長 白戸 貞夫 氏	34人

講座を終えて

佐倉市の歴史入門講座として地域の歴史に興味を持って頂けるよう講座を実施しました。内容としては、最初の2回については明治維新と佐倉・千葉県の成り立ちについて学びその中で、明治の町村合併のとき、当時の、六崎村、寺崎村、太田村他6村が合併して「根郷村」となった話など学びました。この講座は入門編として実施しているので、地域の歴史に興味を持って頂くことを目的として、地域発展の歴史をわかりやすく講義してもらおうよう努めています。郷土史は学ぶ内容が豊富で参加希望者も多く、講座生は熱心に講師のはなしを聞いています。歴史講座は、中高年を中心に根強い人気があり、郷土学習として今後も実施していく必要があると思います。

佐倉学専門編

郷土史講座

開設趣旨 入門編では郷土の歴史について興味を持って頂くことを狙いとしていますが、専門編では郷土に生きた先人の知恵や文化を学び、郷土にたいするふるさと意識や愛着心を持って頂こうと考えています。

さらには住みよいまちづくりを考えていく人づくりを期待するものです。

対 象 成人 各60人

開催回数 1回

学習プログラム

回数	日 時	テ マ	学 習 内 容	講 師	参加者数
1	10月21日(日) 10:00～12:00	堀田正睦の 藩政改革	堀田正睦公を中心とし、幕末から明治の激動期に活躍した先駆者について学んだ。	鍋木 行広 氏	48人

講座を終えて

今年は、佐倉市の先駆者を学ぶとして、堀田正睦の藩政改革について学びました。内容としては堀田氏の系譜から始まり正睦の経歴、藩政改革、医学の話と続き当時の正睦の改革へ向けての努力やその成果が少し理解できたのではないのでしょうか。佐倉には城下町として培われた文化があり、地域で作り出された文化もあります。私たちが住んでいる郷土を理解し、先人の知恵や文化を学ぶことが佐倉学だと思います。この講座は、入門編と分けて歴史などについてより専門的になっておりますが、郷土に対する理解と、住みよいまちづくりを考える点で、すこし歴史など専門的になっております。しかし、参加者の熱心な聴講姿勢を見ますと、今後も継続し、豊かな佐倉市づくりに役立つ事業として実施していきたい。

4 . 高齢者教育事業

寿 大 学

開設趣旨 現在、激しい社会変動の中で高齢化社会を向かえている。このような中で社会情勢の中で高齢者が充実した生活を過ごせる為には、健康維持・生活文化・地域問題などについて情報収集し、学習する必要がある。寿大学は、こうした学習や情報取得・意見交換の場の提供を目指したものである。

対 象 60歳以上の市民 120人

学習目標 高齢者が生きがいを持って充実した生活を過ごせるよう、健康維持、生活文化、地域問題などについて学ぶとともに、互いの交流をはかる。

開催期間 平成19年5月18日から平成20年3月21日まで

学習プログラム

回	月日(曜)	学習テーマ	学習内容	主な講師
1	5.18(金) 9:30-12:30	開 講 式 オリエンテーション	1年間の予定説明等	館長他
		班ごとで	班の確認と、 運営委員の選出等	
		佐倉を知る	郷土関係の 16ミリ映画鑑賞	・志津、臼井の史跡を訪ねて ・はばたく佐倉
2	6.15(金) 10:00-12:00	子育て支援	講 義	前佐倉保育園長 斎藤 きみ子 氏
3	7.20(金) 10:00-12:00	音楽コンサート (見学会申込締切)	ピアノ、声楽	高千穂ネットワーク 社長 中村 泰人 氏
4	9.21(金) 8:00-18:00	社会見学 (自由参加)	東京方面(バス利用)	宮内庁参観
5	10.19(金) 10:00-12:00	軽 体 操	楽しく動いて 気分爽快	教育庁 印旛地方出張所 押田 香代子 氏
6	11.16(金) 10:00-12:00	環 境 問 題	佐倉市の環境問題	佐倉市役所廃棄物対策課長
7	12.21(金) 10:00-12:00	名 画 鑑 賞	邦画の鑑賞	上映作品 「キューポラのある街」
8	1.18(金) 10:00-12:00	読書の楽しみ方	佐倉を読む・集める ・情報発信	中央公民館館長
9	2.15(金) 10:00-12:00	健康増進	長く健康を保つための 予防とリハビリ	高齢者福祉課職員
10	3.21(金) 9:30-12:30	時 事 問 題	講義と閉講式	NHK千葉放送局職員

講座を終えて

寿大学は、根郷地区以外の参加者も受け入れ、高齢者の交流の場としての役割を中心とし、10回の講座を実施している。また生涯学習の観点から卒業をなくしいつまでも学ぶ姿勢を重視している点も寿大学の特徴である。プログラムの編成や企画なども、受講生の意見を参考にしながら、受講者の代表からなる寿大学運営委員会の意見を聞き決めていくのも特徴の一つである。このよな自主運営方法も10年を経過し、定着してきているように見える。今後も、高齢者の交流の場を維持しながら、健康を意識した寿大学の実施に努めていきたい。また、受講生連絡紙『寿だより』の発行も受講生自らが編集委員会を結成し、取材・編集しパソコンを活用して発行しており、その活動維持も努めていきたい。